

鈴木 りつか 議員 無会派



問 HPV ワクチン接種率向上を

答 安全性と有効性を周知していく

問 キャッチアップ接種の人数、接種率は。

答 健康福祉部長 3年間で1,801回、約37%。

問 周知・啓発は。

答 対象期間は、市広報誌や市ホームページに掲載し周知。

問 接種状況の評価は。

答 年々増加し、希望者は不足なく接種できた。

問 未接種者への支援は。

答 考えていない。

問 課題や成果を今後どう生かすか。

答 医療機関と連携し、広く周知。

問 定期接種の周知は。

答 個別通知や市広報誌、市ホームページへ掲載して周知。

問 定期接種の接種率の推移、分析は。

答 増加傾向。定期接種終了年齢の高校2年生相当で約47%。

問 接種率向上の具体策は。

答 定期接種の最終年度に未接種者に再勧奨。

問 副反応への不安払拭のための対策は。

答 接種対象者へ情報発信、健康推進課で相談受付。

問 男子へのHPV ワクチン接種の推奨は。

答 現在対象者ではないが、国の動向を注視。

問 子宮頸がん検診の受診率は。

答 令和3年度以降約12%。令和6年度は前年より約100人増加。

問 子宮頸がん検診を受診しやすくする取組は。

答 子どもの集団検診や歯科教室にて啓発。ウェブ予約や土日検診導入など。

問 市長総括を。

答 市長 予防接種の内容を正しく理解し、子宮頸がん検診を定期的に接種してほしい。



問 安全なリチウムイオン電池処理を

答 ルールに沿う処理の啓発・周知

問 リチウムイオン電池の誤廃棄による火災やトラブルは。

答 市民生活部長 令和2年度以降、3件。

問 回収方法は。

答 市役所の他3か所、八穂クリーンセンター、電気製品販売店、大手家電量販店などで回収。

問 分別・回収方法の周知は。

答 市広報誌、市ホームページにて周知。

問 市民の誤廃棄を防ぐ具体的な取組は。

答 「ごみ収集日程表」「資源・ごみ分別ガイドブック」に掲載、令和6年度からすべてのごみ袋に混入防止の案内を表示。

問 ごみ収集員、処理施設職員への安全講習、安全確認のガイドライン整備は。

答 八穂クリーンセンター等で安全講習を適宜実施。安全確認マニュアルを作成し、ごみ袋内容物を目視で確認。



▲誤廃棄により発火したリチウムイオン電池

問 市長総括を。

答 市長 安全確保の第一歩として、廃棄方法を理解し、正しい分別を行うよう、啓発・周知に努める。



▲回収ボックス（市役所内）